

ほんこまはし
本駒橋

[概要]

本橋梁は、三重県中部と東紀州（三重県南部）を結ぶ総延長 55.3km の紀勢自動車道の一部として計画されたものです。7 径間からなる橋梁であり、インターチェンジ付近であることから橋梁起終点で幅員が大きく変化するのが特徴です。最新の知見を取り入れた設計を実施しており、経済性、長期耐久性、耐震性を大きく向上させた構造となっています。平成 25 年度の全線開通（予定）により、並行する国道 42 号の代替ルートとしての交通機能の確保が図られるほか、救急医療の支援、地域産業の振興、物流の効率化、観光などの発展に大きく寄与することが期待されます。

発注者：中日本高速道路株式会社 名古屋支社 殿
工事名：紀勢自動車道 本駒橋他 1 橋（鋼上部工）工事
引渡場所：三重県度会郡大紀町大内山

[仕様]

橋長：354.000m
幅員：10.150m～18.307m
鋼重：968.600t
鋼種：SM570, SM490Y, SM400
橋梁形式：鋼 7 径間連続 PC 床版合成少数钣桁橋
架設工法：送り出し架設



竣工写真

うれしのはし
嬉野橋

[概要]

本橋梁は、塩田川に架かる昭和 2 年に架設された鋼ポニートラス橋で昭和初期の建造より大きな改築を行っておらず、当時の雰囲気の色濃く残す建造物です。架設後 80 年あまり経過し劣化が進行していたことから、主要部材の更新や塗装の塗替え等の補修・補強工事を実施すると共に、親柱上へ当時を模した街燈を設置するなど建設当時の状態を復元しました。生まれ変わった嬉野橋は、史跡的価値に加え、嬉野温泉街の中心地にあり、地元住民や観光客からの印象も深いシンボリックな存在として今後の活用が期待されます。

発注者：嬉野市 殿
工事名：平成 23・24 年度 市道下岩屋線 嬉野橋補強工事
引渡場所：佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿・下野地内

[仕様]

橋長：27.400m
幅員：5.300m
鋼重：53.959t
鋼種：SM490Y, SM400
橋梁形式：下路ポニーボウストリングトラス橋
架設工法：ベント併用トラッククレーン架設



竣工写真